

## 総合舞台

今年度のやまなし県民文化祭・総合舞台が3月1日に盛大に開催されました。

今回の総合舞台は、節句にまつわるエピソードを広く皆さまから募集し、それらをもとに独自に舞台化した作品を上演しました。初めての試みでしたが、舞台系各部門の活動者が共同し、これまで各ジャンルで培われてきた出演者の質の高い技が融合し、新たな舞台芸術の形として素晴らしい作品を創り上げることができました。

節句は、古来より季節の節目に邪気を払い、子どもの健やかな成長と幸せを願い行う日本の伝統行事です。節句ごとに紡がれた5つの情景に、次代を担う青少年が数多く参加する中、会場に詰めかけた県民の皆さまには、懐かしさの中に深い親子愛を感じていただけたことでしょうか。

フィナーレでは、エピソード入選者の表彰も行われ、舞台の感動の余韻と相まって、会場は大きな拍手で包まれました。



- 公募エピソード入選者 黒谷乃亜／目黒容子／由季ほなの／渡辺まあや
- スタッフ 脚本：河野通方／演出部：河野通方、花柳彩三郎、平林美奈子／音楽監督：足達勝子／作曲・指揮：中島睦明／振付：花柳彩三郎、花柳鶯香、平林美奈子、芝田実佳、成澤千香子／舞台監督：平沢元彦／舞台監督助手：山口善彦／照明：高松公男／音響：若尾さとる／大道具：大竹誠、小澤信也／衣装：花柳彩三郎、平林美奈子、小林トコ、飯久保初美／衣装メイク：花柳彩三郎、平林美奈子／髪結メイク：小林トコ
- 総合舞台専門委員 委員長：足達勝子／副委員長：河野通方／事務局長：郷兎輔／委員：相川宝楽、一瀬純司、神宮寺淑子、高原国佐、中田一勢、永田京子、花柳彩三郎、平林美奈子、山口善彦、渡辺公男
- 演 劇 太郎：星野大海／太郎の姉：星野百萌／太郎の母：原田直美／大黒天：鍾旭棟・菊仙人：雨宮豊／幼少時代の桃子：植村遥奈／中学生の桃子：太田優美／桃子の父・菊仙人：村松玲一／桃子の母：青木真里子／初詣の親子：深田智子、深田もも、深田ゆめ、深田のの／五人囃子：安斉梨里香、小澤怜奈、小林季瑠、高野恵衣、吉沢怜那／桃子の同級生：風間仁胡、渡辺桃主、菅原叶乃、望月歩乃佳、若林愛花／短冊の子供：菅原叶乃、望月歩乃佳、若林愛花、中島莊子（劇団やまなみ、甲府児童劇団、笛吹市民劇団、フリー）
- 音 楽 織姫：渡辺智美／彦星：大澤歩士／【オーケストラ】Vn1：村井美代子／Vn2：村松誠崇／Vla：村井功／Vc：荻野裕子／Cb：植村紀子／Fl：本多世里香／Ob：竹内栄子／Cl：小林律子／Fg：松下浩一／Hr：脇坂早紀／Perc：岩瀬文子、羽田淳一、小幡千枝（甲府室内合奏団、甲府市民吹奏楽団、ふじかわ文化倶楽部、南アルプス桃源交響楽団、山梨交響楽団、フリー）
- 洋 舞 振付・指導：平林美奈子、芝田実佳、成澤千香子／天の川：名取美優、川野莉果、諏訪朱音、名取美涼、小林周子、名取滯里、小林萌子、深澤麻衣（平林美奈子舞踊研究所）／村祭り：河西緩乃、神田悠花、高橋香帆、深澤美羽、小林咲、小林千紘、杉田美海、名取優衣、西海朋華、西海妃乃（平林美奈子舞踊研究所）／桃の花の精：中村和香奈、大場雪雪、山田櫻子、室伏花乃、白戸梨央奈、藤網天音、河西理子、保坂美里、平山可恋（ユミクラシックバレエスタジオ）／花いちもんめ：深澤理心、大森葉月、堀内まりか、成澤香菜子、鈴木有真、鈴木日和、保坂美里、小宮山時、三枝姫葉、土屋花恵、九茂史、内田蘭、志村わか、菱屋沙希、渡邊絵理佳、三枝詩菜（若尾バレエ学園）／第三景妹：小林千紘（平林美奈子舞踊研究所）／桃子の同級生：河西緩乃（平林美奈子舞踊研究所）
- 日 舞 振付・指導：花柳彩三郎、花柳鶯香／豊栄舞：花柳彩紗奈／初詣に行く家族：山内惟治、石崎雅菜、石崎莉乃／子ウサギ：若尾妃美季、藤巻さち、宮本柚華、日野原瑠杏／三人官女：伊藤晴加、原田奈津美、福田美晴／第三景兄：宮本蓮丞（花柳彩三郎社中、花柳鶯香社中）
- 合 唱 指導：高島千香／ソプラノ：相馬千恵美、上田明穂、川瀬咲衣花、渡辺理恵子、高島千香／アルト：小俣淳子、榊原千恵、山浦歩、佐藤五月、清水桂子、鈴木清美、山崎千里／テノール：大久保一輝、松井秀樹、山崎浩司／ベース：井上文伸、福山貴司、山崎恵受（大月市民合唱団）
- 邦 楽 指導：原田幸詠勢、矢崎萬梨勢、利根川倫勢／囃子：間瀬りりか／箏1：村田真唯、宮下実華、奥脇愛夢、渡辺真子、名田屋杏樹、深澤柚乃、大山居花、原田幸詠勢、矢崎萬梨勢／箏2：矢崎海音、田川柳々、矢崎空音／十七絃：利根川倫勢
- 朗 読 指導：永田京子／ナレーション：千頭和直輝（演劇ユニット「クロ・クロ」）／朗読（陰）：語り：今福律子（野の花会）
- 民謡民舞 振付・指導：萩田久子／銭太鼓：小林小百合、内藤和子、三井たかね、横森輝子、柳田順子、相原洋子、水口茂子、藤森しげ子、石黒恵美子、川島芳子（日本民謡杉の会）／ひょっとこ：河西佐智子（甲府志保己会）／おかめ：保坂とみ子（甲府志保己会）／狐：相川宝楽（宝楽会）／初詣に行く家族：小林小百合、内藤和子、三井たかね、横森輝子、柳田順子、相原洋子、水口茂子、藤森しげ子、石黒恵美子、川島芳子、谷戸治、武藤由美子、数野深雪、堀田紗英、右田ゆずる、堀田瑠菜、由井美咲（日本民謡杉の会）

# 総合展示



今年度の総合展示は、一昨年度に続き、県立図書館イベントスペースで開催しました。美術・書道・写真・華道・フラワーデザイン・ハンドクラフトの分野で、県内を代表する作家の皆さまの作品を集め、展示しました。道路に面した壁がガラス面であることや、長方形の会場であることなど、空間的な制約の中で、できるだけ鑑賞しやすく、平面作品と立体作品がバランスよく展示できるよう工夫をし、来場者からもご好評を頂きました。

| 部門       | 分類   | 合計点数                            |
|----------|--|---------------------------------|
| 美術       | 油彩16点、水彩1点、日本画1点、<br>水墨墨彩1点、版画1点、彫刻2点、<br>工芸4点 | 26点                             |
|          | 書道   | 漢字12点、小字数3点、調和体2点、<br>かな3点、刻字1点 |
| 写真       |  | 28点                             |
| 華道       |  | 5流派                             |
| フラワーデザイン |  | 12点                             |
| ハンドクラフト  |  | 16点                             |
| 出品合計     |  | 108点                            |
| 来場者数     |  | 1,155名                          |



## 合唱フェスティバル 2014

8月30日(土) 12:30開演

8月31日(日) 10:00開演

東京エレクトロン荳崎文化ホール

### 開催状況

昨年は、国民文化祭が開催されたのでフェスティバルは実施されませんでした。よって1年ぶりに開催された合唱フェスティバルでした。2日間とも大変熱意のあるステージでした。多くの観客が集い盛大な拍手をおくって会場がわきたちました。

講師に合唱指揮者の清水昭先生と須藤礼子先生、声楽家の鈴木茂明先生をお呼びして、各参加団体の演奏に対して講評用紙に指導助言を書いていただきました。また、閉会式では、わかりやすく講評をお話していただき、今後の合唱団の技術向上に大変役立てることができました。発声面や技術面のこと、曲想表現のこと、そして何よりも合唱は聴いている人にメッセージを伝えるべきものであるという真髄を教えていただきました。

また、講評用紙には各団体の良い面と課題点が大変わかりやすく書かれてありました。山梨県の合唱のレベルがだんだんと上がっていているのは、このような大会を通して、他団体の発表を互いに聴き合う場があるからだと思います。

県民の文化祭として、世代を超えての合唱を楽しむ仲間が一堂に集い、相互の交流と合唱技術の向上を図り、楽しい合唱の輪を広げることは今後も継続していければよいと願います。なお本大会に出場したS.C.Gioialは関東大会において金賞を受賞しました。さらに都留文科大学合唱団は、全国大会に勝ち進み文部科学大臣賞を受賞しました。

このような名誉ある賞が山梨県から輩出できたことも、このフェスティバルの成果といえます。山梨県の合唱活動にご協力いただいた皆さまに感謝いたします。

#### ・コンクール部門

|        |                 |      |
|--------|-----------------|------|
| 中学の部   | 混声 (5 団体) ……    | 151名 |
|        | 同声 (4 団体) ……    | 81名  |
| 高校の部   | A 部門 (16 団体) …… | 229名 |
|        | B 部門 (1 団体) ……  | 49名  |
| 大学の部   | 1 団体 ……         | 48名  |
| ユースの部  | 1 団体 ……         | 18名  |
| 室内合唱の部 | 3 団体 ……         | 50名  |

#### ・フェスティバル部門

|          |               |
|----------|---------------|
| 19団体 ……  | 427名          |
| 出演者総計 …… | 1,053名 (50団体) |
| 入場者数 ……  | 1,300名        |





## 音楽祭

9月14日(日) 12:30開場、13:00開演  
 コラニー文化ホール・小ホール

(プレ・オーディション (ピアノのみ)  
 8月2日(土) 南アルプス市カナリアホール  
 オーディション  
 8月17日(日) コラニー文化ホール・小ホール)

## フレッシュコンサート

平成27年1月11日(日) 13:30開場、14:00開演  
 双葉ふれあい文化館・ホール

### 開催状況

第14回やまなし県民文化祭音楽祭は例年同様二部構成で開催。一部は68組の応募者の中からプレオーディション (ピアノのみ) とオーディションを経て合格した13組がコンクール形式の音楽祭に出演。その結果、県民文化祭賞は残念ながら該当者なし、準文化祭賞1名、優秀賞2名、審査員特別賞として伴奏者賞1名が選ばれた。第二部では特別演奏として、北杜市出身藤岡弦太さんのバリトン独唱、ヴァイオリン浅川実夏さん、チェロ浅川岳史さん、ピアノ藤巻都さんの三人によるピアノ三重奏を聴いていただいた。三人とも国内外の舞台上で活躍中の演奏家達である。さて、今回文化祭賞の該当者なしという結果に終わったが、この数年技術的な面では応募者の成長が著しく、優秀を付けたい状況が続いている。この様な中にありながら音色・表現・解釈等々総合的に判断した結果、文化祭賞に値する演奏がなかったことは残念であった。来年に期待したい。なお、参加促進事業として「フレッシュコンサート」を1月11日(日)双葉ふれあい文化館において開催した。過去の音楽祭で良い演奏をし、専門委員会の推薦を受けた7組8名が出演した。選ばれた出演者達らしく、若さに溢れた素晴らしい演奏で新春にふさわしいコンサートであった。この若者達が今後益々精進し、将来山梨の音楽文化の発展に貢献できる存在となれるよう、音楽祭に携わる者として応援していく意味において、フレッシュコンサートの様な企画は必要であると思う。

来年の音楽祭応募者へ更なる期待をするものである。

#### 〔音楽祭〕

応募者総数……………68組84名

・プレオーディション

参加者数 (ピアノのみ) ……43名

・オーディション

参加者数 ……42組58名 (プレ合格者17名含む)

・音楽祭

第1部出演者数 ……13名

第2部出演者数 ……4名

・入場者数……………400名

#### 〔フレッシュコンサート〕

・出演者数……………11名

・入場者数……………300名



## 写 真 展

11月2日(日)～8日(土) 9:00～17:00 (8日は15:30まで)  
県立美術館・県民ギャラリーA・B

## 撮影技術研修会

平成27年3月21日(土) 9:00～12:30  
県立農林高等学校

### 開催状況

第14回やまなし県民文化祭写真展は、5月10日の写真部門専門委員会において公募要項が審議され、以後展示までに5回にわたる委員会を開催し、諸準備に万全を期した。

本年度は、作品の公募締切を8月30日(土)とし、審査員は山梨日日新聞社編集局プロカメラマン鶴田圭吾先生に依頼した。

本年度の写真の特長として、総応募数629点と前回の661点から32点減少したが、これは、作品のプリント方法に関する問題によるものと思われる。その中で、県主催写真展は過去芸術祭53回、県民文化祭14回、計67回で、女性で祭賞に選ばれたのは、組写真の部、中澤香代子さんの「北の海辺」で三人目である。最近は女性の写真界への進出が目覚ましく、入賞入選者71名中22名が女性であった。

今後の課題は、女性の応募者に女性ならではの感性を活かした作品を多く出品してもらうこと、又、風情豊かな歴史や文化習慣が多数残っている本県を題材とした作品を多く出品してもらうことだと考えている。今後はさらに気を引き締め、県内外が活性化する写真展になってほしい。

#### 応募点数

|           |        |
|-----------|--------|
| モノクロ単写真の部 | 69点    |
| カラー単写真の部  | 284点   |
| 組写真の部     | 68点    |
| 学生の部      | 208点   |
| 計         | 629点   |
| 出品者数      | 176名   |
| 入場者数      | 1,350名 |



## 邦楽部門公演会

10月19日(日) 10:30開場、11:00開演  
 コラニー文化ホール・小ホール

## 箏曲ワークショップ

10月19日(日) 13:45~14:00  
 コラニー文化ホール・小ホール

### 開催状況

昨年度の邦楽公演は、当県の葦崎市を会場として行われた国民文化祭「邦楽の祭典」へ三曲関係の代表的メンバーが出演のため、開催しなかった。本年度の第14回やまなし県国民文化祭邦楽部門公演会は10月19日、コラニー文化ホールで開催した。折からの相次ぐ台風の影響が懸念されたが、当日は天候にも恵まれ、次の点を重点に出演者が自覚して、いずれの曲目も精力的に熱演したことが注目された。

- 1 昨年度の国民文化祭で醸成された邦楽への関心を更に高揚し、これを次世代に継承する。
- 2 次世代の県邦楽界を担って活躍する人材登用のため、新たに協力委員制を採り入れ、専門委員会運営に参画し、今後の県邦楽分野での活性化を図る。

また、近年取り組んできた幼少年への底辺拡大と、後継者育成対策を目的とした『ワークショップ』参加者による演奏の「さくらさくら」と「花かげ変奏曲」が好評で、聴衆の喝采を享けていたことと、例年の公演会に比べ入場者が多かった点が特筆される。

|           |        |
|-----------|--------|
| 発表舞台      | 23ステージ |
| 出演者数      | 176名   |
| 入場者数      | 250名   |
| 箏曲ワークショップ |        |
| 参加者数      | 10名    |





# 大茶会

10月12日(日) 10:00~15:30

男女共同参画推進センター (ぴゅあ総合)

# 茶道体験教室

12月7日(日) 10:00~15:00

素心菴 (芸術の森公園茶室)

## 開催状況

### ・大茶会

第14回やまなし県民文化祭大茶会が平成26年10月12日(日) (10時~3時30分まで) ぴゅあ総合で開催されました。

今年の参加団体は、大日本茶道学会、江戸千家、表千家、裏千家、小笠原流煎茶道、煎茶道松風花月流の六流派が趣向を凝らした席を用意してお客様を迎えておりました。

昨年は、国民文化祭のため休会したせいか、3,200人をこす大勢のお客様をお迎えすることが出来たのです。

天候にも恵まれ、秋の一日を窓外の紅葉も色を添えて文化の香りが満ち溢れておりました。そして、人と人が和気あいあいとお茶席を楽しみ、薫り高い文化にふれることを喜び合っておりました。

誰しもが心豊かな思いで帰途につかれたことと思います。

### ・茶道体験教室

平成26年12月7日(日)素心菴に於いて10時~3時まで茶道体験教室を開催致しました。参加人数は100名です。今年度で第7回目となります。内容は、客の作法として手の洗い方、席入りの仕方、床の間の拝見の仕方、お茶碗の持ち方、お菓子の取り方、お茶の戴き方、お菓子の戴き方、茶の点て方、運び方、さげ方、菓子の運び方等を1時間に20名の方がこれらの作法を学びました。それぞれ満足な様子で充実感を味わって頂きました。この日から大勢の方が茶人になりました。

### 参加流派

大日本茶道学会、江戸千家、表千家、裏千家、小笠原流煎茶道、煎茶道松風花月流

関係者・スタッフ数…………… 200名

入場者数…………… 3,200名

### 茶道体験教室

参加者数…………… 100名



## 美術展

10月19日(日)～25日(土) 9:00～17:00 (25日は16:00まで)  
 県立美術館・県民ギャラリーA・B・C

### 日本画体験教室—日本画を描いてみよう—

11月29日(土) 13:00～16:00  
 県立美術館・ワークショップ室

### 開催状況

第14回やまなし県民文化祭美術展は、10月17日(金)に140点が搬入され、18日(土)9時から12時まで公開審査が行われた。県が委嘱した審査員43名中38名が出席し、まず入選作品103点とそので賞候補20点が選出され、その後、審査員の本人記名投票により賞候補20点の中から上位11点(賞の数)を選出し、3回目の投票により各賞が決定された。県民文化祭賞の横井まい子氏の作品は、色・形・構成及び内容的に優れた作品であることが評価された。その他優秀賞の10作品はこれまで以上に手堅い描写力と色の美しさが心を引きつけた秀作であった。

表彰式は、25日(土)15時より展示会場である県民ギャラリーAで行い、中込満夫専門副委員長の経過報告に続き、専門委員長が講評を行った。その後、やまなし県民文化祭賞の横井まい子氏他受賞者10名に県生涯学習文化課長・内田不二夫氏が賞状を授与した。

受賞者を代表して、県民文化祭賞の横井まい子氏がお礼の言葉を述べ表彰式が終了し、16時より個人による搬出作業を行い、17時には全作品が搬出され、第14回やまなし県民文化祭美術展が終了した。



| 部門                 | 応募人数 | 応募点数 | 入選点数   | 審査員・招待 |
|--------------------|------|------|--------|--------|
| ・油彩                | 65   | 78   | 57     | 33     |
| ・水彩                | 36   | 37   | 28     | 5      |
| ・版画                | 2    | 2    | 2      | 5      |
| ・日本画               | 11   | 11   | 11     | 6      |
| ・水墨墨彩              | 3    | 3    | 1      | 1      |
| ・彫刻                | 1    | 1    | 0      | 3      |
| ・工芸                | 5    | 8    | 4      | 11     |
| ・複合立体              | 0    | 0    | 0      | 4      |
| 計                  | 123  | 140  | 103    | 68     |
| 陳列総点数              |      |      | 171点   |        |
| (入選103点、審査員・招待68点) |      |      |        |        |
| 入場者数               |      |      | 1,886名 |        |
| 日本画体験教室 (幼児～高校生対象) |      |      |        |        |
| 講師：安藤峯子            |      |      |        |        |
| 参加者数               |      |      | 20名    |        |



## 民謡民舞フェスティバル

10月12日(日) 12:30開場、13:00開演  
コラニー文化ホール・小ホール

## 山梨県の民踊と舞踊のふれあい

9月24日(水) 19:00~20:00  
山中湖村長池地区コミュニティーセンター

### 開催状況

第14回やまなし県民文化祭部門別フェスティバルの民謡民舞は、10月12日にコラニー文化ホールにて行われました。参加団体21、出演者314名により、演奏と踊りとの合同の舞台は観客の皆様にも大いに楽しんでいただけたことと自負しております。

さて、今年の舞台構成は、各団体一曲は自慢の出しものの唄や演奏や踊りの披露を行い、もう一曲はテーマを決めて共演舞台としました。テーマは「富士山世界文化遺産登録記念の唄」と題しまして、富士山に因んで8曲を唄と演奏と踊りとの共演で行いました。内容は一曲に三団体での共演で行うことにし、また県内の曲で纏めてみました。また富士山と関連した解説を行い、ナレーションには朗読部門の永田先生に応援をいただき、大変好評でした。

今後も他部門とのコラボも良いかなと思いますので、これからもいろいろ考えて実施していきたいと思います。

|                |          |
|----------------|----------|
| 参加団体           | 21団体     |
| 出演者数           | 314名     |
| 入場者数           | 600名     |
| 山梨県の民踊と舞踊のふれあい |          |
| 参加者数           | 16名(子ども) |
| 入場者数           | 100名     |

